

第七次只見町振興計画  
評価検証（後期）報告書

令和6年12月

只見町



## 1. 評価検証の趣旨

第七次只見町振興計画に基づく各種事業の実施に当たってはP D C Aサイクルを取り入れ、より高い効果・成果を求めながら実施していくこととしています。

### ※P D C Aサイクルにおける実行計画

C H E C K（評価）を、前期、中期、後期の終了年（4年目、7年目、10年目）に実施します。C H E C K（検証）においては、行政自らが行うとともに、今回計画に携わっていただいた、専門部を中心に実施し、事業の進捗（着手の有無）とそれぞれの成果（指標は、関連数値や満足度・納得感等）を確認し、検証結果として改善を図ることとします。

### 《第七次振興計画抜粋》

後期評価については、10年目となる令和7年度に評価を実施することとされていますが、第八次只見町振興計画の策定に着手するにあたり、時期を前倒して評価検証を実施します。

なお、最終評価となることから、事業に着手したかではなく、振興計画に定める基本方針について満足度、重要度の評価をもって第七次振興計画を通した取組みの評価とします。

## 2. 検証方法

第八次只見町振興計画策定に係る町民アンケートによる評価

- 期 間 令和6年9月6日～10月11日
- 対 象 町内在住の18歳以上の方1,000名（無作為抽出）
- 内 容 第七次只見町振興計画に定める29の基本方針について、「満足度」「重要度」について評価した。（郵送・WEB回収による本人記入方式）
- 回答数 423（回答率42.3%）

## 3. 評価検証結果について

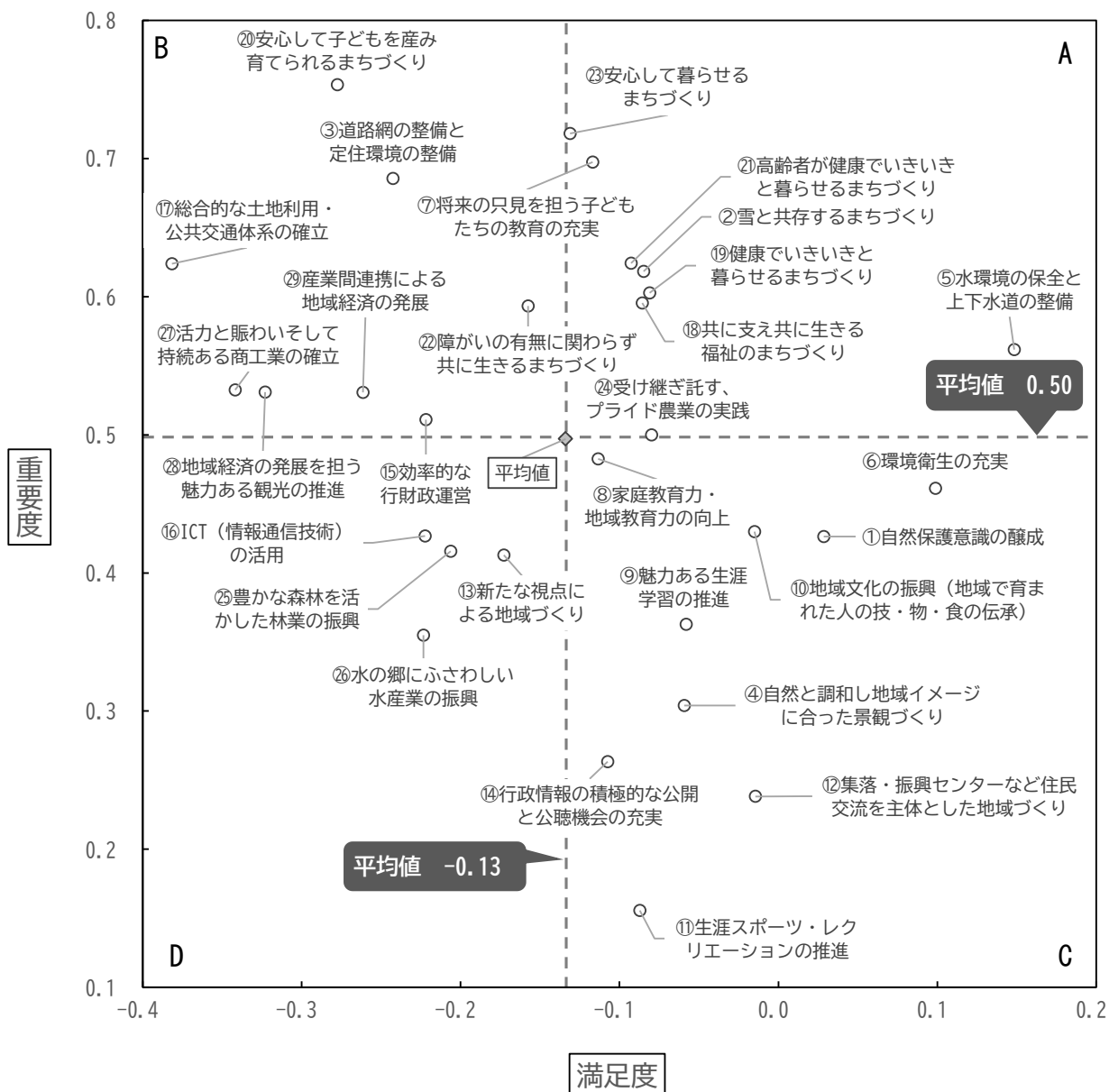
各基本方針の「満足度」「重要度」について点数化し、散布図にサンプリングしました。「重要度」「満足度」の平均値の交点を基準として、4つのグループに分類し検証を行いました。

A	重要度、満足度ともに平均値以上
B	重要度は平均値以上だが、満足度は平均値以下
C	重要度は平均値以下だが、満足度は平均値以上
D	重要度、満足度ともに平均値以下

### ◆各基本方針の加重平均

※ 満足度と重要度の選択肢について、下記のように点数化しています。

満足度		重要度	
満足	1点	重要	1点
普通	0点	普通	0点
不満	-1点	重要でない	-1点



## ◆各基本方針の評価グループ

I. 自然と共生するまちづくり		
①	自然保護意識の醸成	C
②	雪と共存するまちづくり	A
③	道路網の整備と定住環境の整備	B
④	自然と調和し地域イメージに合った景観づくり	C
⑤	水環境の保全と上下水道の整備	A
⑥	環境衛生の充実	C
II. 文化に根づく人づくりとまなび続けるまちづくり		
⑦	将来の只見を担う子どもたちの教育の充実	A
⑧	家庭教育力・地域教育力の向上	C
⑨	魅力ある生涯学習の推進	C
⑩	地域文化の振興（地域で育まれた人の技・物・食の伝承）	C
⑪	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	C
III. 住民が主役のまちづくり		
⑫	集落・振興センターなど住民交流を主体とした地域づくり	C
⑬	新たな視点による地域づくり	D
⑭	行政情報の積極的な公開と公聴機会の充実	D
⑮	効率的な行財政運営	B
⑯	ICT（情報通信技術）の活用	D
⑰	総合的な土地利用・公共交通体系の確立	B
IV. 住みやすいまちづくり		
⑱	共に支え共に生きる福祉のまちづくり	A
⑲	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	A
⑳	安心して子どもを産み育てられるまちづくり	B
㉑	高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり	A
㉒	障がいの有無に関わらず共に生きるまちづくり	B
㉓	安心して暮らせるまちづくり	A
V. 働きがいのあるまちづくり		
㉔	受け継ぎ託す、プライド農業の実践	A
㉕	豊かな森林を活かした林業の振興	D
㉖	水の郷にふさわしい水産業の振興	D
㉗	活力と賑わいそして持続ある商工業の確立	B
㉘	地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進	B
㉙	産業間連携による地域経済の発展	B

## ◆評価検証

満足度の比較的高いA, Cグループについては、取り組み内容に一定程度の効果があつたと評価できる。

一方、満足度が平均以下のB, Dグループは取り組み内容についての効果が低い評価となった。

個別方針で見ると、満足度が高いものは「⑤水環境の保全と上下水道の整備」、「⑥環境衛生の充実」、「①自然保護意識の醸成」となっており、満足度が低いものは「⑰総合的な土地利用・公共交通体系の確立」、「⑳活力と賑わいそして持続ある商工業の確立」、「㉑地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進」となっている。

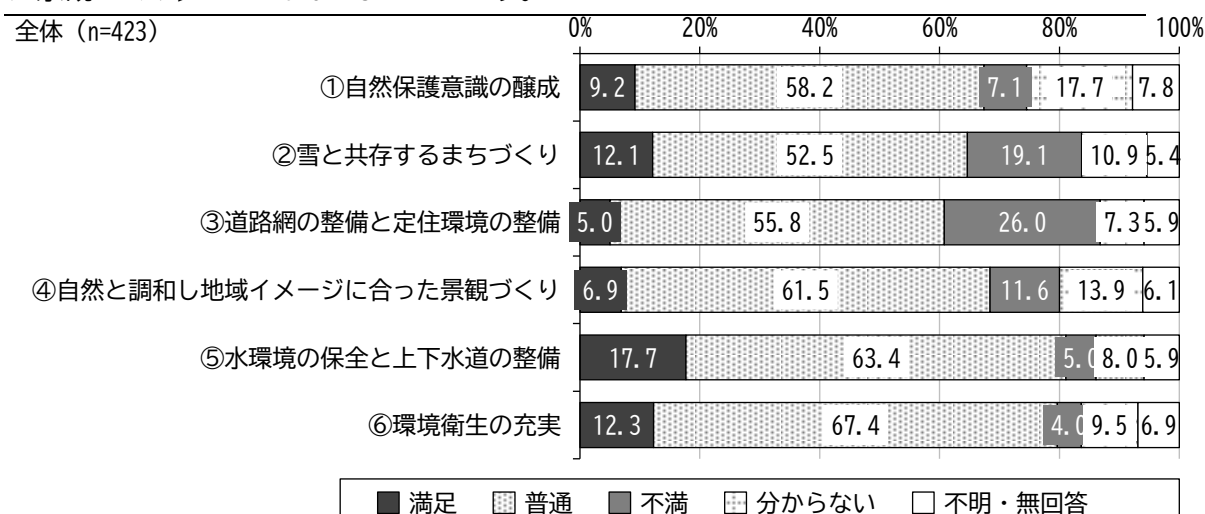
特に重要度が高く満足度が低いBグループについては、第八次振興計画に向け更なる効果的取り組みの検討が必要となる。

参考) 町民アンケート結果

■自然と共生するまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔⑤水環境の保全と上下水道の整備〕が17.7%と最も高く、次いで〔⑥環境衛生の充実〕が12.3%、〔②雪と共存するまちづくり〕が12.1%となっています。

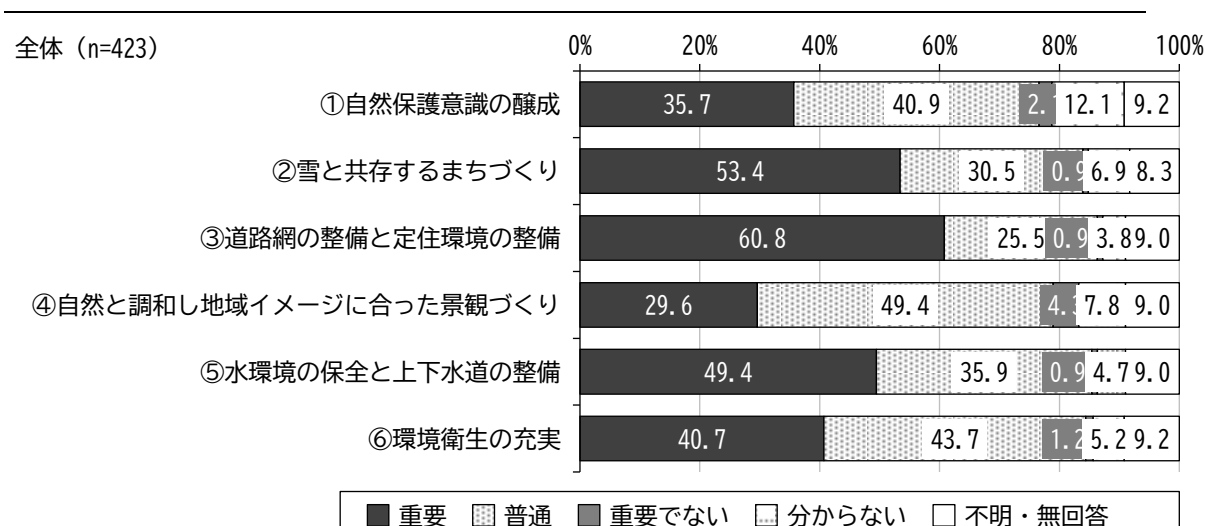
「不満」の割合についてみると、〔③道路網の整備と定住環境の整備〕が26.0%と最も高く、次いで〔②雪と共存するまちづくり〕が19.1%、〔④自然と調和し地域イメージに合った景観づくり〕が11.6%となっています。



■自然と共生するまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔③道路網の整備と定住環境の整備〕が60.8%と最も高く、次いで〔②雪と共存するまちづくり〕が53.4%、〔⑤水環境の保全と上下水道の整備〕が49.4%となっています。

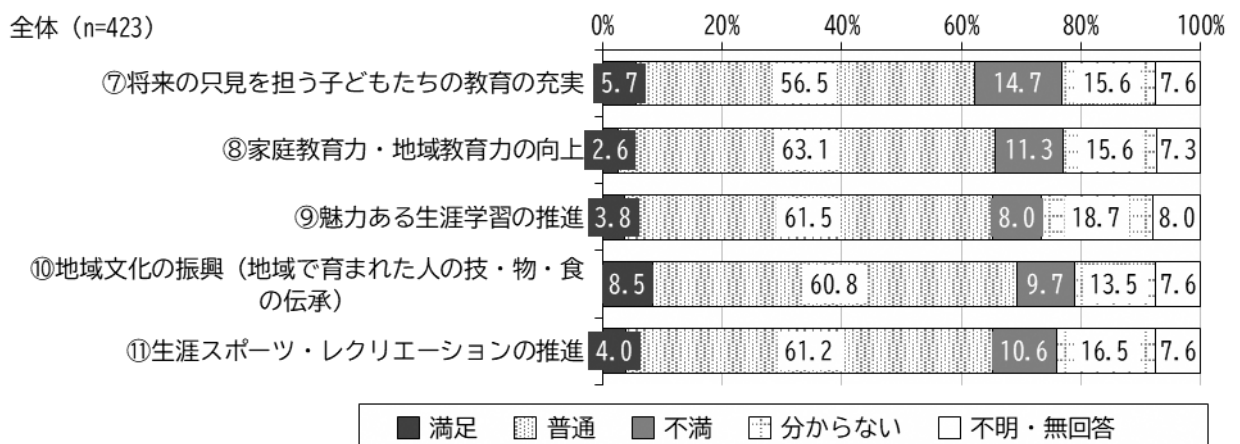
「重要でない」の割合についてみると、〔④自然と調和し地域イメージに合った景観づくり〕が4.3%と最も高く、次いで〔①自然保護意識の醸成〕が2.1%、〔⑥環境衛生の充実〕が1.2%となっています。



## ■文化に根づく人づくりとまなび続けるまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔⑩地域文化の振興（地域で生まれた人の技・物・食の伝承）〕が8.5%と最も高く、次いで〔⑦将来の只見を担う子どもたちの教育の充実〕が5.7%、〔⑪生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕が4.0%となっています。

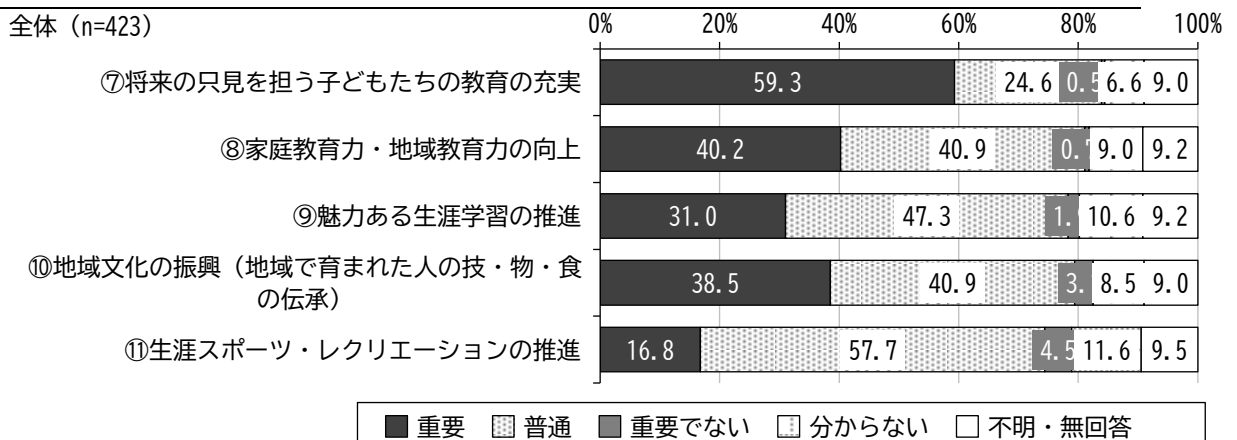
「不満」の割合についてみると、〔⑦将来の只見を担う子どもたちの教育の充実〕が14.7%と最も高く、次いで〔⑧家庭教育力・地域教育力の向上〕が11.3%、〔⑪生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕が10.6%となっています。



## ■文化に根づく人づくりとまなび続けるまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔⑦将来の只見を担う子どもたちの教育の充実〕が59.3%と最も高く、次いで〔⑧家庭教育力・地域教育力の向上〕が40.2%、〔⑩地域文化の振興（地域で生まれた人の技・物・食の伝承）〕が38.5%となっています。

「重要でない」の割合についてみると、〔⑪生涯スポーツ・レクリエーションの推進〕が4.5%と最も高く、次いで〔⑩地域文化の振興（地域で生まれた人の技・物・食の伝承）〕が3.1%、〔⑨魅力ある生涯学習の推進〕が1.9%となっています。

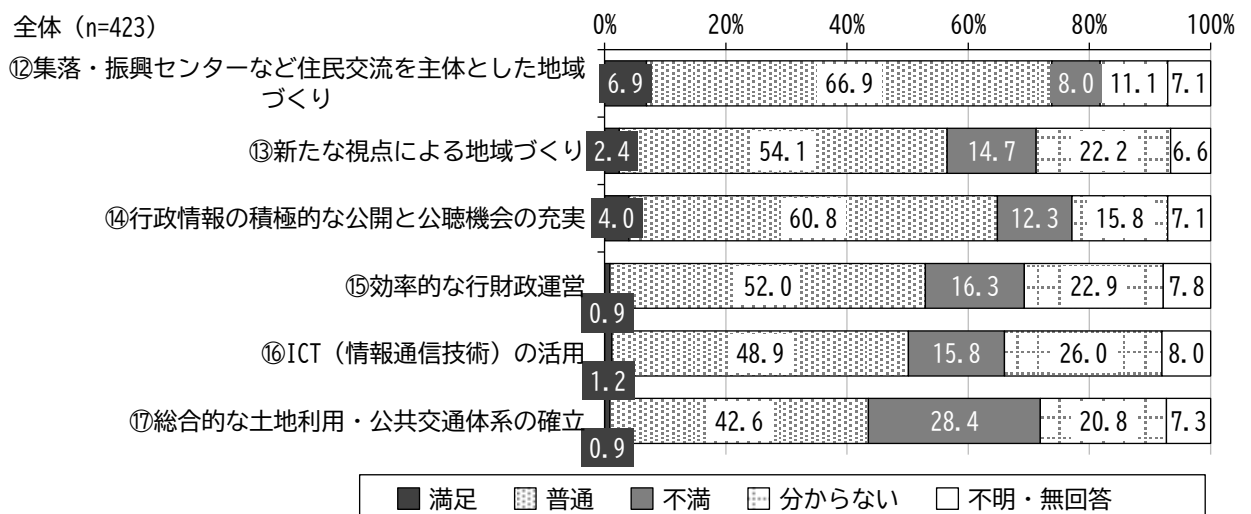




## ■住民が主役のまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔⑫集落・振興センターなど住民交流を主体とした地域づくり〕が6.9%と最も高く、次いで〔⑭行政情報の積極的な公開と公聴機会の充実〕が4.0%、〔⑬新たな視点による地域づくり〕が2.4%となっています。

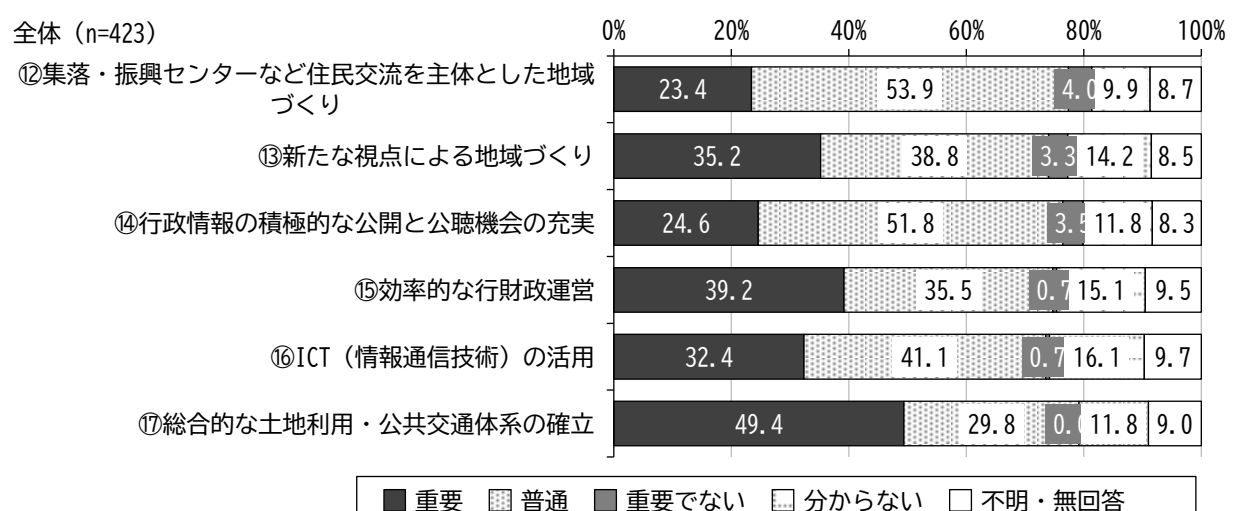
「不満」の割合についてみると、〔⑰総合的な土地利用・公共交通体系の確立〕が28.4%と最も高く、次いで〔⑮効率的な行財政運営〕が16.3%、〔⑯ICT（情報通信技術）の活用〕が15.8%となっています。



## ■住民が主役のまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔⑰総合的な土地利用・公共交通体系の確立〕が49.4%と最も高く、次いで〔⑮効率的な行財政運営〕が39.2%、〔⑬新たな視点による地域づくり〕が35.2%となっています。

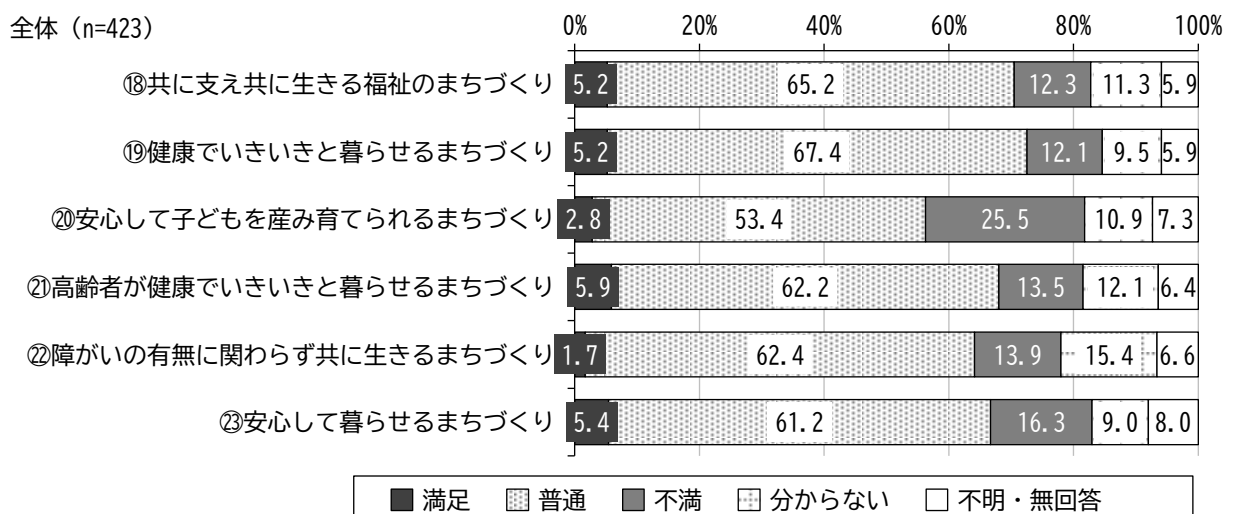
「重要でない」の割合についてみると、〔⑫集落・振興センターなど住民交流を主体とした地域づくり〕が4.0%と最も高く、次いで〔⑭行政情報の積極的な公開と公聴機会の充実〕が3.5%、〔⑬新たな視点による地域づくり〕が3.3%となっています。



### ■住みやすいまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔⑳高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が5.9%と最も高く、次いで〔㉓安心して暮らせるまちづくり〕が5.4%、〔㉑共に支え共に生きる福祉のまちづくり〕〔㉒健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が5.2%となっています。

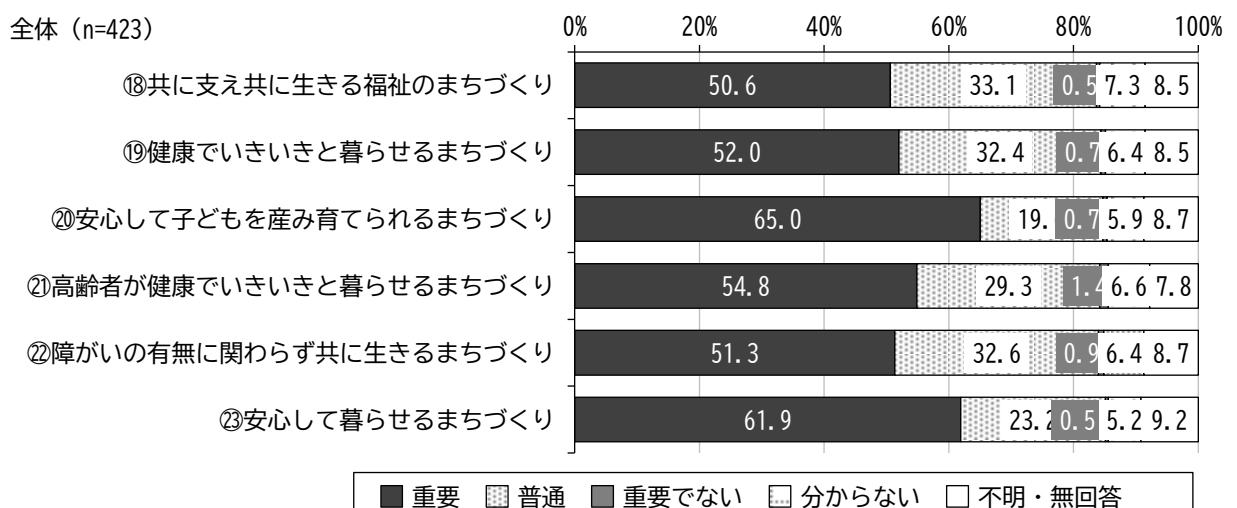
「不満」の割合についてみると、〔㉑安心して子どもを産み育てられるまちづくり〕が25.5%と最も高く、次いで〔㉓安心して暮らせるまちづくり〕が16.3%、〔㉒障がいの有無に関わらず共に生きるまちづくり〕が13.9%となっています。



### ■住みやすいまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔㉑安心して子どもを産み育てられるまちづくり〕が65.0%と最も高く、次いで〔㉓安心して暮らせるまちづくり〕が61.9%、〔㉒高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が54.8%となっています。

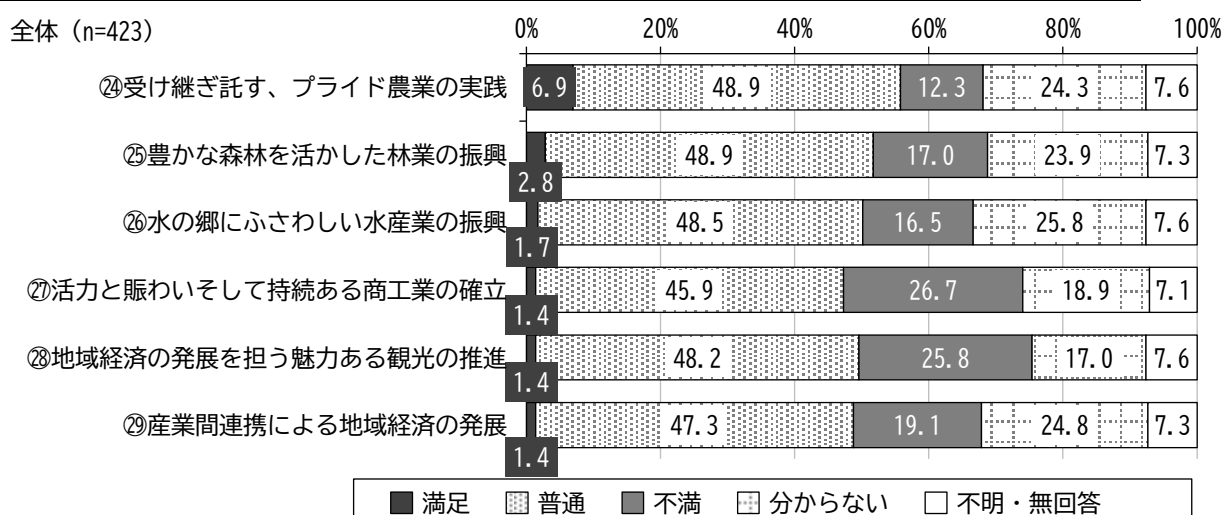
「重要でない」の割合についてみると、〔㉒高齢者が健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕が1.4%と最も高く、次いで〔㉒障がいの有無に関わらず共に生きるまちづくり〕が0.9%、〔㉒健康でいきいきと暮らせるまちづくり〕〔㉑安心して子どもを産み育てられるまちづくり〕が0.7%となっています。



## ■働きがいのあるまちづくり【満足度】

「満足」の割合についてみると、〔④受け継ぎ託す、プライド農業の実践〕が6.9%と最も高く、次いで〔⑤豊かな森林を活かした林業の振興〕が2.8%、〔⑥水の郷にふさわしい水産業の振興〕が1.7%となっています。

「不満」の割合についてみると、〔⑦活力と賑わいそして持続ある商工業の確立〕が26.7%と最も高く、次いで〔⑧地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進〕が25.8%、〔⑨産業間連携による地域経済の発展〕が19.1%となっています。



## ■働きがいのあるまちづくり【重要度】

「重要」の割合についてみると、〔⑧地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進〕が44.2%と最も高く、次いで〔⑦活力と賑わいそして持続ある商工業の確立〕が43.7%、〔⑨産業間連携による地域経済の発展〕が41.4%となっています。

「重要でない」の割合についてみると、〔⑤豊かな森林を活かした林業の振興〕が2.8%と最も高く、次いで〔⑥水の郷にふさわしい水産業の振興〕が2.1%、〔⑧地域経済の発展を担う魅力ある観光の推進〕が1.7%となっています。

